

# 三郷地区防災計画（資料編 Ⅱ）

（恵那市地域防災計画資料編抜粋）

## も く じ

三郷町自主防災組織図	1
三郷町見守り台帳（災害時要援護者台帳・登録希望調査票）	2
三郷町安心・安全カード	4
危険箇所の定義	5
災害危険箇所指定地	6
土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域	6
老朽ため池状況	8
ため池一覧	9
山腹崩壊危険区域	12
崩壊土砂流出危険区域	13
土砂災害警戒区域内にある防災上注意すべき施設	13
指定緊急避難場所及び指定避難所	14
福祉避難所	14
一時（いつとき）避難所	15
防災倉庫の設置場所	15
AEDの設置場所	16
緊急離着陸場所（三郷近郊分）	16
物資集積場所	16
遺体安置所 候補地	17
救護所及び救護病院	17
消火栓・貯水槽設置位置図	18
警報・注意報発表基準	58
避難勧告等の標準的な意味合い	58
風水害タイムライン【台風版（台風の接近に伴う場合）】	60
風水害タイムライン【豪雨版（前線による大雨の場合）】	61
C+DAPによる検証結果	62

平成 年度 三郷町 自主防災組織編成表

恵那市災害対策本部  
 現地災害対策本部  
 (三郷振興事務所)

恵那市役所 → TEL 26-2111  
 恵那警察署 → TEL 26-0110  
 恵那市消防本部 → TEL 26-0119  
 三郷消防コミュニティー → TEL 28-2435  
 野井消防コミュニティー → TEL 25-5691  
 棕実消防コミュニティー → TEL 28-3265  
 三郷警察官駐在所 → TEL 28-1010

《三郷町自主防災対策本部》

三郷振興事務所  
 TEL 28-1001  
 FAX 28-0010

地域自治区会長  
 <自主防災対策本部長>

地元市議会議員

三郷町自主防災隊  
 <隊長>三郷町自治連合会長

消防団三郷分団長

消防団員

民生児童委員  
 防災士など

※防災士、恵那市防災アカデミー修了者

<副隊長>三郷町自治連合副会長  
 《野井区長》  
 ※区長が連合会会長の場合兼務

<副隊長>三郷町自治連合副会長  
 《佐々良木区長》  
 ※区長が連合会会長の場合兼務

<副隊長>三郷町自治連合副会長  
 《棕実区長》  
 ※区長が連合会会長の場合兼務

《野井区》  
 野井区自治会自主防災隊  
 《野井区自主防災対策連絡所》  
 野井公民館 TEL 32-1216

副隊長補佐

総括情報班長

給食給水班長

避難誘導班長

救出救護・要援護者班長

消火水防班長

《佐々良木区》  
 佐々良木区自治会自主防災隊  
 《佐々良木区自主防災対策連絡所》  
 佐々良木公民館 TEL 28-1632

副隊長補佐

総括情報班長

給食給水班長

避難誘導班長

救出救護・要援護者班長

消火水防班長

《棕実区》  
 棕実区自治会自主防災隊  
 《棕実区自主防災対策連絡所》  
 棕実消防コミュニティー TEL 28-3265

副隊長補佐

総括情報班長

給食給水班長

避難誘導班長

救出救護・要援護者班長

消火水防班長

見守り台帳（災害時要援護者台帳・登録希望調査票）【ひとり暮らし用】

三郷町自治連合会会長 様

私は、災害発生時などに地域からの支援を得られるように、下記の情報を自治会の役員及び民生委員児童委員、行政機関、警察署、社会福祉協議会等支援を行う人達に提供することに同意します。

氏 名 \_\_\_\_\_ 平成 年 月 日

代理人氏名（代理人記載の場合のみ記入してください）  
\_\_\_\_\_ 申請者との続柄 \_\_\_\_\_

(平成 年 月 日現在)

氏 名				生年月日	明・大 昭・平	年 月 日	性別	男・女
住 所	三郷町	自治会名 (組・班名)		固定、携 帯電話				
世帯 構 成	支援対象者	氏 名	続 柄	生 年 月 日	性別			
	<input type="checkbox"/> 該当者に チェック			明・大 昭・平	年 月 日	男・女		
	<input type="checkbox"/> 該当者に チェック			明・大 昭・平	年 月 日	男・女		
	<input type="checkbox"/> 該当者に チェック			明・大 昭・平	年 月 日	男・女		
緊急 連 絡 先	氏 名	続 柄	住 所	固定、携 帯電話				
	昼							
	夜							
かかりつけの 医 者	名 称	住 所	固定、携 帯電話					
必要補装具等								
必要常備薬	有・無	安心お守りキット	有・無	緊急通報システム	有・無			
介護時の留意点								
身体の状態								

自治会等記入欄

登録番号				土砂災害特別警戒区域	有・無	土砂災害警戒区域	有・無
担当民生委員・ 児童委員	氏 名	住 所		固定、携 帯電話			
避難支援者	氏 名	続 柄	住 所	固定、携 帯電話			
第1候補							
第2候補							
第3候補							

担当民生委員・児童委員異動

氏 名	住 所	固定、携帯電話	備 考

避難支援者第1候補異動

氏 名	続 柄	住 所	固定、携帯電話	備 考

避難支援者第2候補異動

氏 名	続 柄	住 所	固定、携帯電話	備 考

避難支援者第3候補異動

氏 名	続 柄	住 所	固定、携帯電話	備 考

調査確認 ※毎年調査を実施※

調査年月日	氏 名	役 職
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		

見守り台帳（災害時要援護者台帳・登録希望調査票）

【世帯用】

三郷町自治連合会会長 様

私は、災害発生時などに地域からの支援を得られるように、下記の情報を自治会の役員及び民生委員児童委員、行政機関、警察署、社会福祉協議会等支援を行う人達に提供することに同意します。

氏 名 \_\_\_\_\_ 平成 年 月 日

代理人氏名（代理人記載の場合のみ記入してください）  
\_\_\_\_\_ 申請者との続柄 \_\_\_\_\_

(平成 年 月 日現在)

住所	三郷町		自治会名 (組・班名)	固定、携 帯電話		
	世帯構成	支援対象者	氏 名	続 柄	生 年 月 日	性 別
	<input type="checkbox"/>	該当者に チェック			明・大 昭・平	年 月 日 男・女
	<input type="checkbox"/>	該当者に チェック			明・大 昭・平	年 月 日 男・女
	<input type="checkbox"/>	該当者に チェック			明・大 昭・平	年 月 日 男・女
	<input type="checkbox"/>	該当者に チェック			明・大 昭・平	年 月 日 男・女
	<input type="checkbox"/>	該当者に チェック			明・大 昭・平	年 月 日 男・女
緊急 連絡 先	昼	氏 名	続 柄	住 所	固定、携 帯電話	
	夜					
かかりつけの 医 者	名 称	住 所	固定、携 帯電話			
必要補装具等						
必要常備薬	有・無	安心お守りキット	有・無	緊急通報システム	有・無	
介護時の留意点						
身体の状態						

自治会等記入欄

登録番号		土砂災害特別警戒区域	有・無	土砂災害警戒区域	有・無
担当民生委員・ 児童委員	氏 名	住 所	固定、携 帯電話		
	避難支援者	氏 名	続 柄	住 所	固定、携 帯電話
第1候補					
第2候補					
第3候補					

担当民生委員・児童委員異動

氏 名	住 所	固定、携 帯電話	備 考

避難支援者第1候補異動

氏 名	続 柄	住 所	固定、携 帯電話	備 考

避難支援者第2候補異動

氏 名	続 柄	住 所	固定、携 帯電話	備 考

避難支援者第3候補異動

氏 名	続 柄	住 所	固定、携 帯電話	備 考

調査確認 ※毎年調査を実施※

調査年月日	氏 名	役 職
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		
年 月 日		

# 三郷町安心・安全カード

登録日		自治会名	
登録番号	佐・野・棕	番	組・班名



住所	恵那市三郷町				電話番号:	—
区分	氏名	続柄	生年月日	掛かり付け医療機関	日中の所在地(電話番号又は携帯番号)	
世帯主名			M・T S・H 年 月 日			
家族構成			M・T S・H 年 月 日			
			M・T S・H 年 月 日			
			M・T S・H 年 月 日			
			M・T S・H 年 月 日			
			M・T S・H 年 月 日			
			M・T S・H 年 月 日			
			M・T S・H 年 月 日			
緊急連絡先①	住所 氏名		続柄	携帯番号 電話番号		
緊急連絡先②	住所 氏名		続柄	携帯番号 電話番号		

<p style="text-align: center;"><b>個人情報提供同意書</b></p> <p>私達家族全員の緊急時等に対して、安全確保のためだけに利用する個人情報(三郷町安心・安全カード)を提供することに同意致します。</p> <p>三郷自治連合会 会長 様</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>住所 恵那市三郷町 番地</p> <p>氏名 _____ 印</p>	住宅状況	木・鉄・その他( )
	家具転倒防止設置	有・無
	火災警報器設置	有・無
	備考(緊急時に気をつけて欲しいこと等をご記入下さい) 例)長男〇〇は、アレルギーがあり乳製品は食べられません。	
年度自治会長	氏名	印
年度自治会長	氏名	印
年度自治会長	氏名	印
年度自治会長	氏名	印
年度自治会長	氏名	印

## 危険箇所の定義

名 称	定 義
恵那市災害危険箇所	山崩れ、崖崩れ、洪水、急傾斜地、土石流、落石について、地形条件及び既往災害の経験上など総合的に判断し、被害が予想される人家がある危険箇所をいう (防災対策に関する危険箇所調査に基づく)
土砂災害警戒区域 (急傾斜地の崩壊) 【イエローゾーン】	傾斜度 30 度以上、高さ 5m 以上の急傾斜地で、その土地が崩壊する自然現象。斜面上部(斜面の上端から 10m 以内)、斜面及び斜面下部(斜面の下端から斜面の高さの 2 倍以内)の区域
土砂災害警戒区域 (土石流) 【イエローゾーン】	山腹が崩壊して生じた土石等又は、溪流の土石等が一体となって流下する自然現象で、扇頂部から下流で勾配が 2 度以上の区域
土砂災害警戒区域 (地すべり) 【イエローゾーン】	土地の一部が地下水等に起因して滑る自然現象又は、これに伴って移動する自然現象で、地すべりが発生している或いは地すべりが発生する恐れがある区域
土砂災害特別警戒区域 【レッドゾーン】	土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊、土石流)のうち、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は、身体に著しい危害が生じる恐れのある区域
水害危険箇所 (水位情報周知河川)	水防法に基づき洪水により市民経済上重要な損害または相当な損害を生ずる恐れがあるものについて、知事が「水位情報周知河川」を指定している。それらの河川について、過去の災害実績などを踏まえ、当該河川の特長、特に注意を要する区間などの箇所
老朽ため池状況	農業用に整備したため池で、その老朽具合の状況を示す
山腹崩壊危険区域	地形(傾斜、土層深)、地質、林況等からみて、山腹崩壊により人家等に被害を与える恐れがある区域
崩壊土砂流出危険区域	地形(傾斜、土層深、溪床勾配)、地質、林況等からみて、山腹崩壊等により発生した土砂が土石流となって流出し、人家等に被害を与える恐れがある区域

災害危険箇所指定地

(平成24年現在)

番号	指定番号	種別	危険箇所		被害予想人家
			所在地	状況	世帯数
18	≡01	崖崩れ	三郷町佐々良木 鶴遠、折戸	大雨の場合、裏山が崩壊する恐れがある。	6
19	≡02	土石流	三郷町佐々良木 伊保中切	大雨等の場合、裏山が崩壊し、土石流の恐れがある。	4
20	≡03	洪水	三郷町佐々良木 伊保中切	大雨等の場合、裏山より増水し、家屋へ浸水する恐れがある。家の上部に水路があり大雨時にはオーバーフローする。	1
21	≡04	山崩れ	三郷町佐々良木	昨年裏山が崩れ納屋に土砂が侵入している、更に崩れる恐れがある。	1
22	≡05	崖崩れ	三郷町椋実 殿畑	裏山が崩壊する恐れがある。	1
23	≡06	山崩れ	三郷町椋実 殿畑	大雨等の場合、裏山が崩壊する恐れがある。現在2箇所崩落がある。	1
24	≡07	落石	三郷町椋実 笠岩	裏山の急傾斜地に岩があり地震等により崩落する恐れがある。	1
25	≡08	山崩れ	三郷町佐々良木 洞	急傾斜地の山腹で大雨・地震等により崩壊する恐れがある。(佐々木・柘植両家に土砂流入している。)	4

土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域

(急傾斜・土石流・地すべり)

番号	自然現象の種類	地区の名称 (溪流名)	所在地名		土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域
3	土石流	月ヶ入川1	三郷町	佐々良木深瀬	○	○
4	土石流	月ヶ入川2	三郷町	佐々良木深瀬	○	
5	土石流	大洞川1	三郷町	佐々良木深瀬	○	○
6	土石流	東小屋ヶ洞川	三郷町	佐々良木深瀬	○	○
7	土石流	末廣川	三郷町	佐々良木深瀬	○	○
8	土石流	伊保川	三郷町	佐々良木	○	○
9	土石流	小田沢支流1	三郷町	椋実小田沢	○	○
10	土石流	小田沢支流2	三郷町	椋実小田沢	○	○
11	土石流	小田沢支流3	三郷町	椋実小田沢	○	○
12	土石流	中切洞	三郷町	佐々良木	○	
13	土石流	第一政所川	三郷町	佐々良木伊保中切	○	○
14	土石流	鍵屋川	三郷町	佐々良木上畑	○	○
45	土石流	浮沼川1	三郷町	野井大沢	○	○
47	土石流	浮沼川2	三郷町	野井大沢	○	○
48	土石流	第1山戸洞川	三郷町	野井東組	○	○
49	土石流	第2山戸洞川	三郷町	野井東組	○	○
50	土石流	大洞川2	三郷町	野井東組	○	○



番号	自然現象の種類	地区の名称 (溪流名)	所在地名		土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域
51	土石流	穴田川	三郷町	野井東組	○	○
52	土石流	寺下川 1	三郷町	野井中切	○	○
53	土石流	寺下川 2	三郷町	野井中切	○	○
54	土石流	寺下川 3	三郷町	野井中切	○	○
58	土石流	川上川 1	三郷町	野井	○	○
59	土石流	川上川 2	三郷町	野井	○	○
60	土石流	第四赤坂川	三郷町	野井	○	○
61	土石流	下屋川	三郷町	佐々良木	○	○
62	土石流	菊作川	三郷町	佐々良木	○	○
64	土石流	宮ノ前川	三郷町	佐々良木	○	○
65	土石流	洞ヶ入川 1	三郷町	椋実	○	○
66	土石流	洞ヶ入川 2	三郷町	椋実	○	○
67	土石流	深沢川	三郷町	椋実	○	○
68	土石流	第二政所川	三郷町	佐々良木	○	
69	土石流	上通川	三郷町	佐々良木	○	○
70	土石流	渚ノ前川	三郷町	佐々良木	○	○
71	土石流	月沢川	三郷町	佐々良木	○	○
99	土石流	浮沼川 3	三郷町	野井	○	○
110	土石流	大平川	三郷町	野井中切・野井西組第二	○	○
112	土石流	第二赤坂川	三郷町	野井西組第二	○	
113	土石流	第三赤坂川	三郷町	佐々良木深瀬第二	○	○
114	土石流	赤坂川上流	三郷町	佐々良木深瀬第二	○	○
115	土石流	小田沢川	三郷町	椋実	○	○
116	土石流	第二洞入川	三郷町	椋実	○	○
117	土石流	洞入川	三郷町	椋実	○	○
118	土石流	第二向田川	三郷町	椋実	○	○
64	急傾斜	佐々良木	三郷町	佐々良木	○	○
65	急傾斜	殿畑 1	三郷町	佐々良木	○	○
66	急傾斜	殿畑 2	三郷町	椋実	○	○
67	急傾斜	十平	三郷町	椋実十平	○	○
68	急傾斜	塩沢 1	三郷町	椋実	○	○
69	急傾斜	塩沢 2	三郷町	椋実	○	○
70	急傾斜	椋実 1	三郷町	椋実	○	○
71	急傾斜	椋実 2	三郷町	椋実	○	○
72	急傾斜	洞ヶ入 1	三郷町	椋実	○	○
73	急傾斜	洞ヶ入 2	三郷町	椋実	○	○
74	急傾斜	洞ヶ入 3	三郷町	椋実	○	○
75	急傾斜	洞ヶ入 4	三郷町	椋実	○	○
76	急傾斜	洞ヶ入 5	三郷町	椋実	○	○
109	急傾斜	塩沢 3	三郷町	椋実	○	○
110	急傾斜	塩沢 4	三郷町	椋実	○	○
111	急傾斜	塩沢 5	三郷町	椋実	○	○
136	急傾斜	伊保中切 1	三郷町	佐々良木	○	○
137	急傾斜	殿畑 3	三郷町	椋実殿畑	○	○

番号	自然現象の種類	地区の名称 (溪流名)	所在地名		土砂災害警戒区域	土砂災害特別警戒区域
138	急傾斜	椋実3	三郷町	椋実	○	○
139	急傾斜	椋実5	三郷町	椋実	○	○
148	急傾斜	伊保中切2	三郷町	佐々良木	○	○
149	急傾斜	殿畑4	三郷町	椋実	○	○
150	急傾斜	殿畑5	三郷町	椋実	○	○
151	急傾斜	椋実6	三郷町	椋実	○	○
152	急傾斜	椋実4	三郷町	椋実	○	○
10	地すべり	野井	三郷町	野井中切	○	

(備考)

- ※ 土砂災害警戒区域：イエローゾーン
- 土砂災害特別警戒区域：レッドゾーン

## 老朽ため池状況

資料：岐阜県農政部 平成26年4月1日現在

ため池名	所在地	受益面積 ha	堤高 m	貯水量 千m <sup>3</sup>	危険箇所					危険度判定	診断区分	被害想定	備考
					余水吐	堤体	樋管	放流機能	堆砂				
植木第2池	三郷町佐々良木植木	0.0	4.1	0.4	○	○	○		○	1	要請	○	
上平第2	三郷町野井赤坂40-3	4.8	13.4	9.8		○				2	定期	○	
上平第3	三郷町野井西上平188・189	15.0	7.0	5.6	○	○	○			2	要請	—	
東上平第1	三郷町野井189	18.0	5.4	3.0	○	○	○			2	要請	○	
東上平第2	三郷町野井大平	18.0	3.8	5.0	○	○				2	要請	○	
山田池	三郷町野井一色932	6.0	8.0	3.0	○	○	○			1	要請	○	
室屋	三郷町野井室屋	1.0	6.0	0.3	○	○	○		○	1	要請	○	
北山第3	三郷町野井北山2152	1.5	5.2	3.8	○	○	○			1	要請	—	
椋実ダム	三郷町椋実	5.0	28.2	440.0		○	○		○	2	定期	○	

(備考)

- ※ 貯水量2千m<sup>3</sup>以上又は、堤高5.0m以上の老朽ため池。
- ※ 危険度判定1：直ちに改修の要あり。
- 危険度判定2：改修の要あり。

ため池一覧

資料：市役所産業基盤整備課 平成 26 年 6 月現在

番号	名称	点検 済又は 実施年	所在地	天端 幅 (m)	堤高 (m)	堤頂長 (m)	総貯水量 (m <sup>3</sup> )	かん がい 受益 地 (ha)	備考
1	後山	○	三郷町佐々良木 後山	2	3	21	900	2	
2	植木第1	○	三郷町佐々良木 植木	2	1.5	14	280	1	
3	森下	○	三郷町佐々良木 森下	1.5	3.7	68	720	5	
4	吹洞第2	○	三郷町佐々良木 吹洞		6	12	120	1	
5	弁財天4	○	三郷町佐々良木 弁財天		3	18	230	1	
6	目垂第1	○	三郷町佐々良木 目垂	1	2	11	30	1	
7	椋実ダム	○	三郷町椋実	7	28.2	107.5	440,000	5	老朽
8	東上平第1池	○	三郷町野井 189	4	5.4	75	3,000	18	老朽
9	亀ヶ沢第1池	○	三郷町野井 亀ヶ沢	2	3	50	4,000	1	
10	室屋	○	三郷町野井 室屋	1.6	6	22	250	1	老朽
11	松林名第3	○	三郷町野井 松林名	2	1.3	45	400	1	
12	松林名第1	○	三郷町野井松林 名1642-1	3	1.5	57	300	1	
13	上平第3ため池	○	三郷町野井西上 平188・189	4	7	44.5	5,617	15	老朽
14	上平第1ため池	○	三郷町野井赤坂 10-2	5	17	80	54,000	22	
15	上平第2ため池	○	三郷町野井赤坂 40-3	1.8	13.4	69	9,750	5	老朽
16	東上平第2池	○	三郷町野井 大平	3.5	3.8	175	5,000	18	老朽
17	東赤坂第4	○	三郷町野井 東赤坂	1.5	4	28	350	1	
18	東赤坂第2	○	三郷町野井 東赤坂		3.6	25	90	1	
19	東赤坂第3	○	三郷町野井 東赤坂	2	2.6	38	80	1	
20	東赤坂第6	○	三郷町野井 東赤坂		2.5	11	50	1	

番号	名称	点検 済又は実 施年	所在地	天端 幅 (m)	堤高 (m)	堤頂長 (m)	総貯水量 (m <sup>3</sup> )	かん がい 受益 地 (ha)	備 考
21	北山第1池	○	三郷町野井 北山	3	3.5	150	5,000	3	
22	北山桐井	○	三郷町野井 北山	5	2.8	42	500	1	
23	北山第6	○	三郷町野井 北山	3	3.5	60	500	1	
24	北山第9	○	三郷町野井 北山	3	3.5	46	500	1	
25	北山第11	○	三郷町野井 北山	2	3.7	35	250	1	
26	北山第5	○	三郷町野井 北山	3	2.5	52	150	1	
27	北山丸山	○	三郷町野井 北山	1.5	3.6	21	100	1	
28	北山第3池	○	三郷町野井 北山2152	3	5	128	3,750	2	老 朽
29	北山第2池	○	三郷町野井 北山2153	2.8	3	120	3,000		
30	伊保	H28	三郷町佐々良木 伊保		2	15	450	0	
31	下尾第1	//	三郷町佐々良木 下屋	2	6	19	700	0	
32	下尾第2	//	三郷町佐々良木 下屋		3	20	500	0	
33	植木第2	//	三郷町佐々良木 植木		4.14	62	372	0	老 朽
34	深瀬西尾	//	三郷町佐々良木 深瀬	4	3	30	300	0	
35	吹洞第1	//	三郷町佐々良木 吹洞		8	40	300	0	
36	西ヶ洞第1	//	三郷町佐々良木 西ヶ洞	2.5	3	24	240	0	
37	西ヶ洞第2	//	三郷町佐々良木 西ヶ洞	1.5	3	12	200	0	
38	渚の前	//	三郷町佐々良木 滝ヶ入859		4	22	466	2	
39	白洲池	//	三郷町佐々良木 中深瀬	1	6	45	450	1	
40	弁財天2号池	//	三郷町佐々良木 弁財天		3	39	1,200	0	
41	弁財天8	//	三郷町佐々良木 弁財天	1.7	3	21	420	0	
42	太郎第2	//	三郷町佐々良木 弁財天		1.6	8	300	0	

番号	名称	点検 済又は実 施年	所在地	天端 幅 (m)	堤高 (m)	堤頂長 (m)	総貯水量 (m <sup>3</sup> )	かん がい 受益 地 (ha)	備 考
43	弁財天11	H28	三郷町佐々良木 弁財天	2	3	30	300	0	
44	弁財天5	//	三郷町佐々良木 弁財天	1.5	2	19	280	0	
45	太郎第1	//	三郷町佐々良木 弁財天		2	9	250	0	
46	弁財天6	//	三郷町佐々良木 弁財天	2	4	24	240	0	
47	弁財天3	//	三郷町佐々良木 弁財天	2	3	14	200	0	
48	弁財天7	//	三郷町佐々良木 弁財天		2	9	100	0	
49	弁財天9	//	三郷町佐々良木 弁財天	1	1.6	11	100	0	
50	弁財天10	//	三郷町佐々良木 弁財天	2	1	11	100	0	
51	弁財天池	//	三郷町佐々良木 弁財天178	3.8	2.9	35	3,520	4	
52	目垂第3	//	三郷町佐々良木 目垂	1.5	3.9	30	320	4	
53	目垂第2	//	三郷町佐々良木 目垂	2	1.4	11	50	0	
54	笠岩	//	三郷町椋実 笠岩	2	6.5	6	100	0	
55	小田沢	//	三郷町椋実 小田沢247		2	14	600	0	
56	山田池	//	三郷町野井 一色932	2.6	8	145	3,000	6	老 朽
57	亀ヶ沢第3	//	三郷町野井 亀ヶ沢		2	43	100	0	
58	亀ヶ沢第2	//	三郷町野井 亀ヶ沢		2	20	80	0	
59	沼久手	//	三郷町野井 亀ヶ沢		1.5	25	60	0	
60	松林名第2	//	三郷町野井 松林名		2.6	53	330	0	
61	赤坂熊崎第1	//	三郷町野井 赤坂		6	14	200	0	
62	赤坂熊崎第2	//	三郷町野井 赤坂		6	10	200	0	
63	赤坂熊崎第3	//	三郷町野井 赤坂	2.5	4	16	150	0	
64	坂の下池	//	三郷町野井 大平		5	80	1,500	2	

番号	名称	点検済又は実施年	所在地	天端幅 (m)	堤高 (m)	堤頂長 (m)	総貯水量 (m <sup>3</sup> )	かんがい受益地 (ha)	備考
65	炭焼	H28	三郷町野井炭焼		5	35	280	2	
66	東赤坂第5	//	三郷町野井東赤坂	1.5	3	18	160	0	
67	東赤坂第1	//	三郷町野井東赤坂	3	3	20	100	0	
68	分立池	//	三郷町野井分立	3	5	77	1,000	0	
69	北山第4	//	三郷町野井北山	3	1.8	82	700	0	
70	北山中尾	//	三郷町野井北山		5	30	300	0	
71	北山第10	//	三郷町野井北山	2	2.2	38	250	0	
72	北山市川	//	三郷町野井北山	1	2	41	200	0	
73	北山第12	//	三郷町野井北山	1.5	2.2	18	100	0	
74	北山第7	//	三郷町野井北山	2	1.4	33	60	0	

### 山腹崩壊危険区域

危険地区番号		所在		調査区域面積 (ha)	保全対象		
		大字	字		人家	公共施設	道路
210	06	三郷町佐々良木	下屋	9	1		1
210	07	三郷町佐々良木	下屋	7			1
210	09	三郷町野井	一色・山地	5	1		1
210	503	三郷町椋実	大滝沢	2	2		1
210	504	三郷町椋実		1			1
210	505	三郷町椋実		2			1
210	507	三郷町	佐々良木	1			1
210	508	三郷町椋実		1	2		1
210	533	三郷町野井		4	1		1

## 崩壊土砂流出危険地区

危険地区番号		所在地		面積 (ha)		保全対象		
		大字	字	集水面積	危険地区	人家	公共施設	道路
210	30	三郷町	殿畑	32	0.75	3		○
210	31	三郷町	殿畑	4	0.30	4		
210	32	三郷町	滝ヶ入	48	3.00	2		○
210	33	三郷町	棕実	21	2.70	5		○
210	44	三郷町	古野川	6	0.30	3		○
210	61	三郷町	山地	13	1.05	2		○
210	62	三郷町	法仙寺・西上平	188	6.30	12		○
210	65	三郷町	岩井ヶ洞	21	0.72	4		○
210	66	三郷町	床入ヶ洞	5	0.60	1		○
210	69	三郷町	滝ヶ入	5	0.22	5		○
210	501	三郷町	下屋	2.5	0.14	10		○
210	506	三郷町	火尻	4.5	0.20			○
210	508	三郷町	佐々良木		1.40	2		○
210	509	三郷町	棕実		0.12			○
210	511	三郷町	棕実		1.17	3		○
210	516	三郷町	野井		0.22	1		○
210	533	三郷町	佐々良木		0.27	2		○
210	534	三郷町	野井		0.66	6		○

## 土砂災害警戒区域内にある防災上注意すべき施設

平成 25 年 9 月現在

番号	施設名称	所在地	土砂災害警戒区域	うち特別警戒区域	備考

(備考)

- ※ 土砂災害警戒区域：イエローゾーン  
土砂災害特別警戒区域：レッドゾーン

## 指定緊急避難場所及び指定避難所

	名称	所在地	電話番号	区分	施設概要			指定緊急避難場所の対象とする異常現象	AED設置状況	備考
					場所	面積 ㎡	収容人員			
23	野井公民館	三郷町野井 1987-2	26- 3000	2	ホール	696	344	1,2	無	耐震性が低い
24	恵那南部 農業者ト レーニン グセンタ ー	三郷町野井 1355-3	25- 6005	1	グラウ ンド	5,200	2,600	1,3	—	土砂災害警戒区域
				2	体育館	656	344	1,3	無	土砂災害警戒区域
25	三郷コ ミュニテ ィセンタ ー	三郷町 佐々良木 1839-4	28- 1338	2	ホール	704	362	1,2,3	玄関前に設置	
26	三郷小学 校	三郷町 佐々良木 1822	28- 2025	1	グラウ ンド	6,400	3,200	1,3	—	一部土砂災害警戒区域
				2	体育館	778	328	1,2,3	職員室内に設置	

(備考)

※ 「区分」欄の表記は次による。

1. 指定緊急避難場所 2. 指定緊急避難場所兼指定避難所

※ 「指定緊急避難場所の対象とする異常現象」欄の表記は次による。

1. 洪水 2. 崖崩れ・土石流・地滑り 3. 地震

※ 土砂災害警戒区域：イエローゾーン

土砂災害特別警戒区域：レッドゾーン

## 福祉避難所

	名称	所在地	電話番号	避難所		備考
				面積 ㎡	収容人員	
7	特別擁護老人ホーム 明日香苑	三郷町佐々良木 1470-1	28- 3210	4,547	1,515	AED 設置

※福祉避難所とは

既存の建物を活用し、介護の必要な高齢者や障害者など一般の避難所では生活に支障を来す人に対して、ケアが行われるほか、要援護者に配慮したポータブルトイレ、手すりや仮設スロープなどバリアフリー化が図られた避難所のこと。



## 一時（いっとき）避難場所

区	自治会名	一時避難場所	警戒区域	備考			
佐々良木	寺張 上畑	西ふれあいセンター	土砂災害警戒区域 (土石流)				
	伊保中切				伊保中切集会所	土砂災害警戒区域 (土石流)	
	中組第一 三共第一	旧 JA 三郷営業所	土砂災害警戒区域 (土石流)				
	中組第二 三共第二				三郷消防コミュニテ ィセンター		
	深瀬第一 深瀬第二 深瀬第三	深瀬つどいの家					
	野井				西組第一	上平バス停	
	西組第二				西組クラブ	土砂災害警戒区域 (土石流・地すべり)	
	中切	中切クラブ	土砂災害警戒区域 (土石流)				
宮の前第一	野井公民館						
宮の前第二	美濃平五差路						
東組	東組クラブ	土砂災害警戒区域 (土石流)					
大沢	大沢クラブ	土砂災害警戒区域 (土石流)					
棕実	棕実	棕実公会堂					
	殿畑	殿畑集会所	土砂災害特別警戒区域 (急傾斜)				

(備考)

※ 自治会指定一時（いっとき）避難場所

※ 土砂災害警戒区域：イエローゾーン

土砂災害特別警戒区域：レッドゾーン

## 防災倉庫の設置場所

施設名	場所	保管方法	備考
恵那南部農業者トレーニングセンター	三郷町野井 1355-3	物置型	グラウンド北側
野井公民館	三郷町野井 1987-2	物置型	
三郷小学校	三郷町佐々良木 1822	物置型	体育館西側

施設名	場所	保管方法	備考
特別擁護老人ホーム明日香苑	三郷町佐々良木 1470-1	物置型	
棕実公会堂	三郷町棕実 912-2	物置型	
三郷コミュニティセンター	三郷町佐々良木 1839-4	物置型	

### AEDの設置場所

施設名	場所	備考
みさとこども園	三郷町野井 1969-1	
三郷小学校	三郷町佐々良木 1822	職員室内に設置
三郷コミュニティセンター	三郷町佐々良木 1839-4	屋外設置(玄関)
三郷診療所	三郷町佐々良木 1836-1	
道の駅そばの郷らっせいみさと	三郷町佐々良木 1461-1	
特別擁護老人ホーム明日香苑	三郷町佐々良木 1470-1	

### 緊急離着陸場所(三郷近郊分)

出動ヘリコプター	施設名	着陸帯	場所	備考
県防災ヘリコプター	中部大学研修センター	芝生	武並町竹折	
ドクターヘリ	三郷小学校	グラウンド	三郷町佐々良木 1822	

### 物資集積場所

#### ・恵那市の定める物資集積場所

備考欄口印は避難所の指定のある施設

名称	所在地	電話番号	集積可能施設		隣接する緊急輸送道路	備考
			施設	面積㎡		
恵那文化センター	長島町中野 414-1	25-5121	ホール	6,103	国道 19号	□
恵那市市民会館	長島町正家 1 丁目 3-21	26-2111	体育館	1,490	国道 19号	

ただし、必要に応じて当施設近辺の道路の渋滞、混雑を緩和するため、一時集積配分拠点に分散する

・物資の一時集積配分拠点(三郷近郊分)

備考欄□印は避難所の指定のある施設

名 称	所在地	電話番号	集積可能施設		隣接する緊急輸送道路	備考
			施設	面積㎡		
恵那東中学校	大井町 1073-1	25-5261	体育館	2,082	国道 19 号	□
恵那西中学校	長島町中野 1269-261	25-5245	体育館	1,230	国道 19 号	□
恵那北中学校	笠置町河合 980	27-3133	体育館	1,351	中央自動車道	□
恵那特別支援学校	岩村町 133-3	43-4857	体育館	1,200	国道 257 号	□
山岡中学校	山岡町下手向 182-4	56-2614	体育館	1,651	県道 33 号	□

地震等大規模災害発生時に、道路の交通混乱を避け、被災地内の避難所等へ緊急物資を配送するための中継拠点

遺体安置所 候補地 (恵那警察署報告済み)

名 称	所在地	電話番号	集積可能施設		隣接する緊急輸送道路	備考
			施設	面積㎡		
恵那市市民会館	長島町正家 1 丁目 3-21	26-2111	体育館	1,490	国道 19 号	
恵那市共同福祉会館	長島町正家 1 丁目 5-16	26-2111	集会所	488	国道 19 号	

救護所及び救護病院

・救護所

設置施設	所在地	電 話	備 考
国民健康保険三郷診療所	三郷町佐々良木 1836-1	28-1070	

※ 被災地と上記の指定した救護所、又は医療機関との位置関係、あるいは傷病者の数と搬送能力との問題から、被災地から傷病者の搬送に時間がかかるため、被災地での対応が必要な場合は避難所等に設置する。

・救護病院

設置施設	所在地	電 話	備 考
市立恵那病院	大井町 2719-10	26-2121	災害拠点病院

## 警報・注意報発表基準

用語	説明	基準
大雨注意報	大雨によって、災害が起こるおそれがある場合にその旨を注意して行う予報	3時間雨量 80 mm
		土壌雨量指数 75
大雨警報	大雨によって、重大な災害の起こるおそれのある旨を警告して行う予報	3時間雨量 160 mm
		土壌雨量指数 105
大雨特別警報	警報の発表基準をはるかに超える異常な現象が予想され、重大な災害が起こるおそれが著しく大きい場合にその旨を警告して行う予報	台風などで、50年に一度の降雨量となる大雨が府県程度の広がりをもって予想される場合等 ※恵那市の大雨の指標 3時間降水量 134mm 48時間雨量 363mm 土壌雨量指数 234
洪水注意報	洪水によって、災害が起こるおそれがある場合にその旨を注意して行う予報	3時間雨量 80 mm
		流域雨量指数 阿木川流域=22 木曾川流域=44
洪水警報	洪水によって、重大な災害の起こるおそれのある旨を警告して行う予報	3時間雨量 160 mm
		流域雨量指数 阿木川流域=27 木曾川流域=73
記録的短時間大雨情報	数年に1回程度しか発生しないような激しい短時間の大雨を観測、または解析したときに発表する情報 現在の降雨がその地域にとって災害の発生につながるような稀な激しい降雨であることを周知するために発表	1時間雨量 100 mm

出典：岐阜地方気象台HP 平成26年5月27日現在

大雨特別警報の発表基準（気象庁HP） 平成27年6月24日現在

## 避難勧告等の標準的な意味合い

用語	拘束力	発令時の状況	住民に求める行動
避難準備情報	弱	災害時要援護者等、特に避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなければならない段階又は、人的被害の発生する可能性が高まった状況	災害時要援護者等、特に避難行動に時間を要する者の避難をあらかじめ計画した避難場所へ開始する 上記以外の者は、家族等との連絡、非常持出品の用意等避難準備を開始する
避難勧告	中	通常の避難行動ができる者が避難行動を開始しなければならない段階又は、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	通常の避難行動ができる者は、あらかじめ計画してある避難場所へ避難行動を開始する

用語	拘束力	発令時の状況	住民に求める行動
避難指示	強	前兆現象の発生や現在の切迫した状況から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況又は堤防の隣接地等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 人的被害の発生した状況	避難勧告等による避難を実施中の場合は、確実な避難行動を直ちに完了させる 又、未だ避難していない対象地区の者又は、避難行動に移る暇がない者等は、その生命を守る最低限の行動を開始する

# 風水害タイムライン【台風版（台風の接近に伴う場合）】

時間	事象	気象台				市役所					自主防災組織		備考	
		土砂災害	浸水害	洪水	洪水予報河川 (阿木川)	行動項目	本部体制 警戒 非常1次 非常2次	避難情報 発令区分 発令地域	指定緊急避難場所 の開設計画	行動項目	注意事項			
5日前	台風発生					①防災情報の収集・分析(進路予想と降雨量の推測)								
4日前						①防災情報の収集・分析(進路予想と降雨量の推測)								
3日前						①防災情報の収集・分析(予想進路にあたるか、被害を被る可能性についての判断)								
2日前	以下は、台風の通過による被害の可能性ありと判断した場合					①災害対策本部委員会の開催(本部委員会を開催し避難所の開設施設の決定や事前準備の確認し結果を班長に伝達) ②リエゾン派遣者の確認(国や県に)リエゾン派遣についての確認								
1日前						①国や県、気象台との連絡手段の事前確認(ホットラインの確認)								
前日の明る い時間帯	強い降雨を伴う台風が夜間から明け方に接近・通過することが予想される場合					①避難が必要な状況が夜間・早朝の場合となる見込みとなるため避難準備情報の発令(午後3時まで)-発令)、市民からの問い合わせ対応 ②一時避難所や必要とする緊急避難場所の開設 ③避難の呼びかけ(防災行政無線、登録メールなど) ④避難行動要支援者等へ避難の呼びかけ	●	準備 情報	市内 全域	自治区単位 1箇所程度	□安全な指定緊急避難場所への避難誘導 □安全な一時避難所の開設、自主避難者の受け入れ □避難行動要支援者への周知、避難の支援	*土砂災害特別区域や警戒区域の住民は自主的に危険な場所から退避避難を開始する。 *要支援者は、早めに避難することし、自家用車等で避難所に向かう。 *役員等は地区災害対策本部に参集する。		
1日～数時間前	大雨が始まる、降雨の強さが増す					①気象台、岐阜県合同会議への参加(恵那県事務所)								
数時間～2時間程度前	重大な災害が起こるおそれがある					①5kmメッシュ判定で避難準備情報の発令、市民問い合わせ対応 ②指定緊急避難場所の開設 ③避難の呼びかけ(防災行政無線、登録メールなど) ④避難行動要支援者等へ避難の呼びかけ ⑤市道等の通行止め等の応急対応	●	準備 情報	メッシュ 単位	メッシュ内全て (土砂内を除く)	□安全な一時避難所の開設準備 □安全な指定緊急避難場所への避難誘導 □安全な一時避難所の開設、自主避難者の受け入れ □避難行動要支援者への周知、避難支援	*役員等は地区災害対策本部に参集する。 *土砂災害特別区域や警戒区域の住民は自主的に危険な場所から退避避難を開始する。 *要支援者は、早めに避難することし、自家用車等で避難所に向かう。		
	避難判断水位に達し、さらに水位の上昇が見込まれる					①必要地域(河川単位)に避難準備情報の発令、市民問い合わせ対応 ②指定緊急避難場所の開設 ③避難の呼びかけ(防災行政無線、登録メールなど) ④避難行動要支援者等へ避難の呼びかけ ⑤河川公園閉鎖等水防対応	●	準備 情報	河川 単位	河川単位	同上	*浸水想定区域から退避避難を開始する。 *要支援者は、早めに避難することし、自家用車等で避難所に向かう。	横町川、永田川、田邊川、小里川は雨量により判断	
	氾濫危険水位に達した					①必要地域(河川単位)に避難勧告発令、市民問い合わせ対応 ②指定緊急避難場所の開設 ③避難の呼びかけ(防災行政無線、登録メールなど) ④個別訪問による避難の呼びかけ ⑤避難所への必要物資の搬入 ⑥浸水箇所への土嚢等の水防対応	●	勧告	河川 単位	河川単位	同上	*避難場所へ直ちに避難(必要に応じて自宅2階等への垂直避難)	横町川、永田川、田邊川、小里川は雨量により判断	
	土砂災害発生の危険度が高まる					①5kmメッシュ判定で避難勧告発令、市民問い合わせ対応 ②指定緊急避難場所の開設 ③避難の呼びかけ(防災行政無線、登録メールなど) ④個別訪問による避難の呼びかけ ⑤避難所への必要物資の搬入 ⑥市道等の通行止め等の応急対応	●	勧告	メッシュ 単位	メッシュ内全て (土砂内を除く)	□土砂災害特別警戒区域、警戒区域内住民への避難周知 □安全な一時避難所への避難誘導	*安全な一時避難場所へすぐ避難(外出が危険なときは、自宅の安全な場所に移動(2階等への移動、山側から離れた部屋等へ移動))		
	記録的な大雨が出現した(数年に一度という大雨を観測)					①5kmメッシュ判定で避難勧告発令、市民問い合わせ対応 ②指定緊急避難場所の開設 ③避難の呼びかけ(防災行政無線、登録メールなど) ④個別訪問による避難の呼びかけ ⑤避難所への必要物資の搬入 ⑥市道等の通行止め等の応急対応	●	勧告	メッシュ 単位	メッシュ内全て (土砂内を除く)	同上	同上		
	土砂災害発生の危険度が一層高まる					①5kmメッシュ判定で避難指示発令、市民問い合わせ対応 ②指定緊急避難場所の開設 ③避難の呼びかけ(防災行政無線、登録メールなど) ④個別訪問による避難の呼びかけ ⑤救助・避難誘導 ⑥避難所への必要物資の搬入 ⑦市道等の通行止め等の応急対応	●	指示	メッシュ 単位	メッシュ内全て (土砂内を除く)	□避難未完了者への避難周知	*外出が危険なときは、自宅の安全な場所に移動(2階等への移動、山側から離れた部屋等へ移動)例え避難指示が出ててもその場で待機避難とする。		
	越水・溢水のおそれが一層高まる					①必要地域に避難指示発令、市民問い合わせ対応 ②指定緊急避難場所の開設 ③避難の呼びかけ(防災行政無線、登録メールなど) ④個別訪問による避難の呼びかけ ⑤救助・避難誘導 ⑥避難所への必要物資の搬入 ⑦市道等の通行止め等の応急対応	●	指示	河川 単位	河川単位	同上	*避難場所へすぐ避難(外出が危険なときは自宅2階等への垂直避難)	阿木川、横町川、永田川、田邊川、小里川	
	重大な災害が起こるおそれが著しく大きく、非常に危険な状況にある(数十年に一度の大雨が予想される)					①既に避難勧告・避難指示が発令されている場合は、避難勧告・避難指示対象地区の範囲が十分であるかどうかなど、実施済の措置内容の確認、追加措置の検討	●	指示	メッシュ 単位	メッシュ内全て (土砂内を除く)	同上	【土砂災害】 *外出が危険なときは、自宅の安全な場所に移動(2階等への移動、山側から離れた部屋等へ移動)例え避難指示が出ててもその場で待機避難とする。 【水害】 *床下浸水、床上浸水して来ても、外には避難しない。 *避難指示が発令されても現状の安全な場所で待機避難する。		
	最接近					①既に実施済の措置内容の確認、追加措置の検討	●	指示	メッシュ 単位	メッシュ内全て (土砂内を除く)	同上			

※避難発令地域の「河川単位」、「メッシュ単位」は、別添を参照してください。

# 風水害タイムライン【豪雨版（前線による大雨の場合）】

時間	事象	気象台				市役所					自主防災組織		備考	
		土砂災害	浸水害	洪水	洪水予報河川 (阿木川)	行動項目	本部体制 警戒 非常1次 非常2次	避難情報 発令 発令地域	指定緊急避難場所 の開設計画	行動項目	注意事項			
約1日前	大雨の可能性が高くなる					①気象情報の収集								
前日の明るい時間帯	夜間から早朝に天雨になることが予想される					①避難が必要な状況が夜間・早朝の場合となる見込みとなるため避難準備情報の発令(出来るだけ明るいうちに発令)、市民からの問い合わせ対応 ②指定緊急避難場所の開設 ③避難の呼びかけ(防災行政無線、登録メールなど) ④避難行動要支援者等へ避難の呼びかけ	●	準備情報 市内全域	自治区単位 1箇所程度	<input type="checkbox"/> 安全な指定緊急避難場所への避難誘導 <input type="checkbox"/> 安全な一時避難所の開設、自主避難者の受け入れ <input type="checkbox"/> 避難行動要支援者への周知、避難の支援	*土砂災害特別区域や警戒区域の住民は自主的に危険な場所から退避避難を開始する。 *要援護者は、早めに避難することとし、自家用車等で避難所に向かう。 *役員等は地区災害対策本部に参集する。			
半日~数時間前	災害が起こるおそれがある					①気象情報の収集								
数時間~2時間程度前	重大な災害が起こるおそれがある					①5kmメッシュ判定で避難準備情報の発令、市民問い合わせ対応 ②指定緊急避難場所の開設 ③避難の呼びかけ(防災行政無線、登録メールなど) ④避難行動要支援者等へ避難の呼びかけ ⑤市道等の通行止め等の応急対応	●	準備情報 メッシュ単位	メッシュ内全て (土砂内を除く)	<input type="checkbox"/> 安全な一時避難所の開設準備 <input type="checkbox"/> 安全な指定緊急避難場所への避難誘導 <input type="checkbox"/> 安全な一時避難所の開設、自主避難者の受け入れ開始 <input type="checkbox"/> 避難行動要支援者への周知、避難支援	*役員等は地区災害対策本部に参集する。 *土砂災害特別区域や警戒区域の住民は自主的に危険な場所から退避避難を開始する。 *要援護者は、早めに避難することとし、自家用車等で避難所に向かう。			
	避難判断水位に達し、さらに水位の上昇が見込まれる					①必要地域(河川単位)に避難準備情報の発令、市民問い合わせ対応 ②指定緊急避難場所の開設 ③避難の呼びかけ(防災行政無線、登録メールなど) ④避難行動要支援者等へ避難の呼びかけ ⑤河川公園閉鎖等水防対応	●	準備情報 河川単位	河川単位	同上	*浸水想定区域から退避避難を開始する。 *要援護者は、早めに避難することとし、自家用車等で避難所に向かう。	横町川、永田川、田達川、小里川は雨量により判断		
	氾濫危険水位に達した					①必要地域(河川単位)に避難勧告発令、市民問い合わせ対応 ②指定緊急避難場所の開設 ③避難の呼びかけ(防災行政無線、登録メールなど) ④個別訪問による避難の呼びかけ ⑤避難所への必要物資の搬入 ⑥浸水箇所への土嚢等の水防対応	●	勧告 河川単位	河川単位	同上	*避難場所へ直ちに避難(必要に応じて自宅2階等への垂直避難)	横町川、永田川、田達川、小里川は雨量により判断		
	土砂災害発生危険度が高まる					①5kmメッシュ判定で避難勧告発令、市民問い合わせ対応 ②指定緊急避難場所の開設 ③避難の呼びかけ(防災行政無線、登録メールなど) ④個別訪問による避難の呼びかけ ⑤避難所への必要物資の搬入 ⑥市道等の通行止め等の応急対応	●	●	勧告 メッシュ単位	メッシュ内全て (土砂内を除く)	<input type="checkbox"/> 土砂災害特別警戒区域、警戒区域内住民への避難周知 <input type="checkbox"/> 安全な一時避難所への避難誘導	*安全な一時避難場所へすぐ避難(外出が危険なときは、自宅の安全な場所に移動(2階等への移動、山側から離れた部屋等へ移動))		
	記録的な大雨が出現した(数年に一度という大雨を観測)					①5kmメッシュ判定で避難勧告発令、市民問い合わせ対応 ②指定緊急避難場所の開設 ③避難の呼びかけ(防災行政無線、登録メールなど) ④個別訪問による避難の呼びかけ ⑤避難所への必要物資の搬入 ⑥市道等の通行止め等の応急対応	●	●	勧告 メッシュ単位	メッシュ内全て (土砂内を除く)	同上	同上		
	土砂災害発生危険度が一層高まる					①5kmメッシュ判定で避難指示発令、市民問い合わせ対応 ②指定緊急避難場所の開設 ③避難の呼びかけ(防災行政無線、登録メールなど) ④個別訪問による避難の呼びかけ ⑤救助・避難誘導 ⑥避難所への必要物資の搬入 ⑦市道等の通行止め等の応急対応	●	●	指示 メッシュ単位	メッシュ内全て (土砂内を除く)	<input type="checkbox"/> 避難未完了者への避難周知	*外出が危険なときは、自宅の安全な場所に移動(2階等への移動、山側から離れた部屋等へ移動)例え避難指示が出てもその場で待機避難とする。		
	越水・溢水のおそれが一層高まる					①必要地域に避難指示発令、市民問い合わせ対応 ②指定緊急避難場所の開設 ③避難の呼びかけ(防災行政無線、登録メールなど) ④個別訪問による避難の呼びかけ ⑤救助・避難誘導 ⑥避難所への必要物資の搬入 ⑦市道等の通行止め等の応急対応	●	●	指示 河川単位	河川単位	同上	*避難場所へすぐ避難(外出が危険なときは自宅2階等への垂直避難)	阿木川、横町川、永田川、田達川、小里川	
	重大な災害が起こるおそれが著しく大きく、非常に危険な状況にある(数十年に一度の大雨が予想される)					①既に避難勧告・避難指示が発令されている場合は、避難勧告・避難指示対象地区の範囲が十分であるかどうかなど、実施済の措置内容の確認、追加措置の検討	●	●	指示 メッシュ単位	メッシュ内全て (土砂内を除く)	同上	【土砂災害】 *外出が危険なときは、自宅の安全な場所に移動(2階等への移動、山側から離れた部屋等へ移動)例え避難指示が出てもその場で待機避難とする。 【水害】 *床下浸水、床上浸水して来ても、外には避難しない。 *避難指示が発令されても現状の安全な場所で待機避難する。		
	災害発生危険性増大					①避難勧告・避難指示対象地区の範囲が十分であるかどうかなど、既に実施済の措置内容の確認、追加措置の検討	●	●	指示 メッシュ単位	メッシュ内全て (土砂内を除く)	同上			

※避難発令地域の「河川単位」、「メッシュ単位」は、別添を参照してください。



## ① アイスプレイング ② 災害想定

### 自己紹介

リーダー/発表者/書記

季節 春夏秋冬

時間 天候

台風 土砂

地震 水害



## ③

### 脆弱な部分

### 自然特性・社会特性

#### 災害を知る

自分たちの地域に起こりうる災害をイメージする

#### 土砂災害

- ・断層地形
- ・土砂災害警戒区域が多い
- ・山が急で崩れやすい
- ・山が多く倒木の恐れがある

#### 河川氾濫

- ・河川氾濫の危険箇所が多い
- ・寿老の滝の急な増水
- ・橋が落ちて寸断される

#### ため池

- ・ため池の越水で道路など寸断

#### 地域を知る

自分たちの街の特性は何か。たとえば家が密集、水がつかやすい、高低が多い、消火栓がない

#### インフラ

- ・主要道路以外は道幅が狭い
- ・県道、農道以外は道が狭く曲がりくねっている
- ・主要道が通れないと逃げ道がない
- ・生活道路が1本しかなく災害時の影響大
- ・土砂ダム化する危険箇所がある

#### 施設

- ・野井総合会館は多機能に活用できる
- ・介護施設がある

#### 地形

- ・高低差が大きい
- ・山が近い

#### 避難

- ・避難場所が少ない
- ・車がないと移動不可能
- ・避難しない方がよいところがある

#### 消防設備

- ・消火栓はあるがホースがない

#### 家

- ・古い家が多い
- ・川の近くに家がある

#### 人を知る

助ける人や助けられる人はどこに。地区内に活躍できる人は。たとえば事業所や工場、コンビニ

#### 高齢者

- ・高齢者が多い
- ・独居老人が多い

#### 若者

- ・昼間は若者がいない
- ・工場には若者がいる

#### 支援

- ・障がい者の家族がいる
- ・救助活動できる人がいない

#### 店

- ・お店が少ない

#### 母親

- ・幼児をかかえた母親がいる(昼間は父親がいない)

#### 工場

- ・大きい工場がある

## ④ 平常時に出来る対応

平時に事前対策・教育・訓練・活動の見直し・人づくり・地域づくり・ことづくり・ものづくり・資金・情報・PR・防災意識向上など付箋をはり、その後カテゴリーごとにまとめてくる。

### 人づくり

- 川の流れを止めないよう草や木を川に流さない
- 人と人とのつながりをつくる。向こう隣3軒への声かけ
- 自治会と消防団が常に災害に対して話し合い、活動を共用する
- 三郷公民館だよりに継続して連載する
- 災害に対する防災意識の向上。取り組む人をたくさんつくる

### 地域を知る

- 災害時の道路マップの確認。わかりやすい避難経路の周知
- レッドゾーン・イエローゾーンを地元の人達で前もって確認する
- 地域の特徴を知る
- DIG訓練により地形を知る。特徴を知る。
- 福祉マップづくり
- 避難所などの点検や設置
- 春・秋の道づくり、清掃活動等の機会に自分たちの地域の危険箇所を確認する
- 非常食の確保

### 体制づくり

- 企業との協定。企業等とのつながりをつくる。
- トップダウンでなく地域に合った訓練をする
- 水害予防対策
- 情報収集についての仕組みづくり
- 組織についてのシミュレーション。指揮命令系統の確立
- 高齢者(独居老人)・災害弱者の把握
- 介護施設との打合せ
- 地域の人のグループ化。要支援者救出のため

### 河川氾濫対策【土のう作り】

- ルール作り
- 土のう作り体験(小学校と)
- 高齢者も体験
- 少年消防隊が指導
- 積み方の種類を学ぶ
- 防災運動会(小学校で)(町内で)

## ⑥ 振り返り(フェーズごとに見直し)

災害前

初動

応急・復旧・復興

防災協働社会をめざして自分たちの地域は自分たちで守る取り組み  
地区防災計画。

### 発表

## ⑤

### 実践と検証(具体的なプランや訓練を記入しましょう)

災前時に①何が必要②誰が何を③自分たちでできること④何を考えておくか⑤協働できることを記入する。

- 地域の地形と危険性の周知
- 区・自治会で地域内の要支援者の把握、記録、集約

#### 【土のう作り】

①土のう袋・砂・砂置き場を用意→②消防団と自治会が中心となり、小中学生・高齢者へ指導→③学習(氾濫しそうな場所の把握など)やマニュアル作りをしておき→④子供・高齢者は川へ入らない(安全な場所で土のう作り)ことや、運搬方法(消防団車両、軽トラック借上げ)、積載できる量を考えておく





## ① アイスプレイング

## ② 災害想定

自己紹介

リーダー/発表者/書記

季節 春夏秋冬

時間 天候

台風 土砂

地震 水害

## ③

### 脆弱な部分

### 自然特性・社会特性

#### 災害を知る

自分たちの地域に  
起こりうる災害を  
イメージする

#### 河川氾濫

・佐々良木川、  
らっせい横の  
川、下ごやの河  
川氾濫  
・寿老の滝の急  
な増水

#### 土砂災害

・山に囲まれ土  
砂災害が起こり  
やすい。結果、  
道路が寸断  
・掘った茶畑の  
道路崩落

#### 断層

・屏風山断層が  
はせる

#### ため池

・ため池の越水  
で道路など寸断

#### 枯れ木

・道への倒木

#### 地域を知る

自分たちの街の特  
性は何か。たとえば  
家が密集、水がつか  
りやすい、高低さが  
多い、消火栓がない

#### 自然

・山が近い

#### 家

・古い家が多い

#### 道

・国道 418 号、  
県道 66 号が通  
れないと逃げ道  
がなくなる  
・生活道路が 1  
本しかなく、災  
害が起これば生  
活に影響が大き  
い

#### 人を知る

助ける人や助けら  
れる人はどこに。地  
区内に活躍できる  
人は。たとえば事業  
所や工場、コンビニ

#### 人

・昼間は若者が  
少ない  
・日中、高齢者  
や女性ばかりに  
なる  
・近所の高齢者  
や身体の不自由  
な人の把握が必  
要

#### 店

・お店が少ない

#### 工場

・大きい工場が  
ある

## ④ 平常時に出来る対応

平時に事前対策・教育・訓練・活動の見直し・人づくり・地域づくり・ことづくり・ものづくり・資金・情報・PR・防災意識向上など付箋をはり、その後カテゴリーごとにまとめてくる。

河川氾濫対策【土のう作り】

ルール作り

土のう作り体  
験(小学校と)

高齢者も体験

少年消防隊が  
指導

積み方の種類  
を学ぶ

防災運動会  
(小学校で)  
(町内で)

## ⑥ 振り返り(フェーズごとに見直し)

災害前

初動

応急・復旧・復興

防災協働社会をめ  
ざして自分たちの  
地域は自分たちで  
守る取り組み  
地区防災計画。

発表

## ⑤

### 実践と検証(具体的なプランや訓練を記入しましょう)

災前時に①何が必要②誰が何をする③自分たちでできること④何を考えておくか⑤協働できることを記入する。

①  
土のう袋  
砂  
砂置場の確保

②  
消防団と自治会が  
中心となり、小中学  
生・高齢者へ指導

③  
学習(氾濫しそうな  
場所の把握など)  
マニュアル作り

④  
子供・高齢者は川へ  
入らない(安全な場  
所で土のう作り)

□  
運搬方法を考えておく。(消防車  
両・軽トラック借上げ)  
積載できる量を考えておく。



## ① アイスプレーキング

## ② 災害想定

自己紹介

リーダー/発表者/書記

季節 春夏秋冬

時間 天候

台風 土砂

地震 水害

## ③

### 脆弱な部分

### 自然特性・社会特性

#### 災害を知る

自分たちの地域に起こりうる災害をイメージする

#### 土砂災害

- ・断層地形
- ・土砂災害警戒区域が多い
- ・山が急で崩れやすい、山が多く倒木の恐れがある

#### 地域を知る

自分たちの街の特性は何か。たとえば家が密集、水がつかやすい、高低が多い、消火栓がない

#### インフラ

- ・主要道路以外は道幅が狭い
- ・県道、農道以外は道が狭く曲がりくねっている
- ・土砂災害や倒木で生活道路の遮断の恐れがある
- ・川幅が狭く急

#### 施設

- ・野井総合会館は多機能に活用できる
- ・介護施設がある

#### 避難場所

- ・避難場所が少ない
- ・車がないと移動不可能

#### 消防設備

- ・消火栓はあるがホースがない

#### 人を知る

助ける人や助けられる人はどこに。地区内に活躍できる人は。たとえば事業所や工場、コンビニ

#### 高齢者

- ・高齢者が多い
- ・独居老人が多い

#### 若者

- ・昼間は若者がいない
- ・工場には若者がいる

#### 障がい者

- ・障がい者の家族がいる

#### 母親

- ・幼児をかかえた母親がいる(昼間は父親がいない)

## ④ 平常時に出来る対応

平時に事前対策・教育・訓練・活動の見直し・人づくり・地域づくり・ことづくり・ものづくり・資金・情報・PR・防災意識向上など付箋をはり、その後カテゴリーごとにまとめてくる。

### 人づくり

川の流

の流れを止めないよう

に草や木を川に流さない

人と人

のつながりをつくる。向こう隣3軒への声かけ

自治会

と消防団が常に災害に対して話し合い、活動を共用する

三郷

公民館だ

よりに継続して連載する

災害

に対する防災意識の向上。取り組む人をたくさんつくる

### 地域を知る

災害時

の道路マップの確認。わかりやすい避難経路の周知

レッドゾーン・イエローゾーンを地元の人達で前もって確認する

地域の特徴を知る

DIG訓練により地形を知る。特徴を知る。

福祉

マップづくり

避難所

などの点検や設置

春・秋の道づくり、清掃活動等の機会に自分たちの地域の危険箇所を確認する

非常食

の確保

### 体制づくり

企業

との協定。企業等とのつながりをつくる。

トップ

ダウンでなく地域に合った訓練をする

水害

予防対策

情報

収集についての仕組みづくり

組織

についてのシミュレーション。指揮命令系統の確立

高齢者

(独居老人)・災害弱者の把握

介護

施設との打合せ

地域の人のグループ化。要支援者救出のため

## ⑥ 振り返り(フェーズごとに見直し)

災害前

初動

応急・復旧・復興

防災協働社会をめざして自分たちの地域は自分たちで守る取り組み  
地区防災計画。

発表

## ⑤ 実践と検証(具体的なプランや訓練を記入しましょう)

災害時に①何が必要②誰が何を③自分たちでできること④何を考えておくか⑤協働できることを記入する。

地域の地形と危険性の周知

区・自治会で地域内の要支援者の把握、記録、集約



① **アイスプレイング**      ② **災害想定**

**自己紹介**

リーダー/発表者/書記



季節 春夏秋冬

時間 天候

台風 土砂

地震 水害



③

**脆弱な部分**

**自然特性・社会特性**

**災害を知る**

自分たちの地域に  
起こりうる災害を  
イメージする

**道路**

・国道418号伊保地内で道路が崩れて不通になる。

**土砂災害**

・土砂災害が起こりやすい。  
・山から砂の流出が多い

**枯れ木**

・倒木が道路をふさぐ

**橋**

・橋が落ちて寸断される

**地域を知る**

自分たちの街の特性は何か。たとえば家が密集、水がつか  
やすい、高低さが多い、消火栓がない

**地形**

・高低差が大きい

**ダム**

・土砂ダム化する危険箇所がある

**道路**

・道がせまい

**川**

・川の近くに家がある  
・橋が多い

**避難**

・移動しない方が良いところがある

**人を知る**

助ける人や助けられる人はどこに。地区内に活躍できる人は。たとえば事業所や工場、コンビニ

**人**

・昼間は高齢者のみになる  
・救助活動できる人がいない

**店**

・お店がない

④ **平常時に出来る対応**

平時に事前対策・教育・訓練・活動の見直し・人づくり・地域づくり・ことづくり・ものづくり・資金・情報・PR・防災意識向上など付箋をはり、その後カテゴリーごとにまとめてくる。

住民への周知

高齢者対策

[Empty box for notes]

[Empty box for notes]

⑥ **振り返り（フェーズごとに見直し）**

災害前

初動

応急・復旧・復興

防災協働社会をめざして自分たちの地域は自分たちで守る取り組み  
地区防災計画。

**発表**

⑤

**実践と検証（具体的なプランや訓練を記入しましょう）**

災害時に①何が必要②誰が何をする③自分たちでできること④何を考えておくか⑤協働できることを記入する。

